

# KOFU21

Chartered 1990  
甲府21ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.  
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2026 年 2 月 3 日 (火) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7  
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう!」 (Act now with faith and love!)
東日本区理事	山下 真(十勝)	「ワイズのらしさ再発見」 (Rediscovering Y's Uniqueness)
あずさ部部長	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)	「垣根を低くし、活発な活動を」
甲府21クラブ会長	水越 正高	「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」 (Connecting the Next Generation)

甲府21ワイズメンズクラブ

2026 年 2 月会報

今月の強調テーマ

TOF・FF・HTW

今  
月  
の  
聖  
句

「冬になる前にぜひ来てください。」

(テモテへの手紙Ⅱ 4章

後藤 哲夫 選

## 2 月 巻頭言



1 月 10 日 山梨 4 クラブ新年合同例会にて

「体験をつなぐことで育まれるもの」

甲府 21 ワイズメンズクラブ 会長 水越正高

寒さの厳しい日が続く二月となりましたが、年明けから振り返ると、私たちは多くの活動を通して、子どもたちや地域と向き合う時間を重ねてきたように思います。

年始には、毎年参加している「お正月を遊ぼう」のイベントに、今年もお手伝いとして参加させていただきました。羽根つきやこま回しなど、お正月遊びを通して、日本の昔ながらの文化を子どもたちに体験してもらうことができました。普段の

生活ではなかなか触れることの少なくなった伝統的な遊びに、目を輝かせながら取り組む子どもたちの姿がとても印象的でした。

また、今年の新年合同例会は富士五湖クラブが担当され、くじ引き大会やライブなど工夫を凝らした内容で、山梨のワイズメンズクラブの仲間が一堂に会し、新年の門出を共に祝うことができました。クラブの垣根を越えて集い、笑顔で新しい一年を迎えられたことは、改めて横のつながりの大切さを実感する機会となりました。

一月の末には、山梨 YMCA で開催された餅つきイベントにも、メンバーとメネットの皆さまと合同で参加しました。定番の豚汁は、子どもたち自身が切った具材をふんだんに使い、手作りならではの温かさと美味しさが感じられる一杯となりました。また、餅つきでは、出来合いのものが主流となる今だからこそ、餅米から臼と杵を使った昔ながらの方法で行い、子どもたちに一連の工程を体験してもらいました。力を合わせてついたお餅を、皆で味わう時間は、何にも代えがたいものだったと思います。

これらの活動を通して強く感じるのは、「お金で解決すること」ではなく、「体験を創り出すこと」そのものに、青少年育成の本質があるということです。手間がかかり、人の力が必要だからこそ生まれる学びや記憶があります。私たちはこれからも、こうした貴重な体験の場を大切にしながら、子どもたちやユースの成長を支える活動に力を注いでいきたいと考えています。

## 2月第1例会 プログラム

1. 開会点鐘 水越正高会長
2. ワイズソング・ワイズの信条  
(奏楽) 杉田博子ワイズ  
後藤哲夫ワイズ
3. 今月の聖句
4. 会員一言
5. 会長挨拶、ゲスト紹介 水越正高会長
6. ゲスト卓話 尾崎ユタカ様  
『心と表現・才能と感性』  
東京藝術大学油画受験体験と才能感性芸術について考える
7. ワイズディナー
8. ハッピーバースデー
9. YMCA 報告・諸報告
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘 水越正高会長

## 尾崎 ユタカ様 プロフィール



尾崎 ユタカ様

1956 年山梨県生まれ '80 年東京藝術大学美術学部絵画科油画（銅版画研究室）卒業。  
2002 年第2回モントリオール国際ミニチュール版画ビエンナーレ最高賞受賞。銅版画技法一筋に研鑽を積み、ビュランと呼ばれる特殊な彫刻刀で、1 ミリ幅に 20 本以上の細線を彫る世界的にも稀な銅版画家でいらっしゃいます。  
「日常の何気ないシーンの中に大切なメッセージがある・・・と私は思う」



## 1 月例会報告

### 第2例会（餅つき）報告

書記 佐藤 利之

- ・日時 2026 年1月31 日（土）10：00～
- ・会場 山梨 YMCA

今回は第一例会が富士吉田クラブ主催の合同例会でしたので、第二例会を YMCA のお正月遊び、餅つき例会のお手伝いとして行いました。

かなり朝は冷え込んでいましたが晴天で風も少なく絶好のイベント日和でした。  
メネットの皆さんが朝から豚汁の準備をしてくださいました。薬袋シェフを中心にもち米の炊飯も完璧でした。お米の準備ができずは奥水さんが熟練の技を披露していただき原さん、清水さん中心にみんなで餅をつき、ここでもメネットさんがきなこ、あんこ、磯部、大根おろしと色んな餅を作ってください子供たちが嬉しそうに食べていました。豚汁もお替りする子がたくさんいました。子供たちにも餅つきを体験してもらい、掛け声とともにみんな力強くつく姿が印象的でした。オリーブの木の皆様も参加していただき、中には60年ぶりの餅つきだと喜んでくださる方もいらっしゃいました。

普段とは違う直接 YMCA と触れ合える例会で非常に意味のあるものになりました。



# 1月会計報告

会計 山口 了

## [会計報告]

2026 年 01 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
1月の合計	0	0	0
1月末迄累計	153,279	100000	253,279
達成率	61.3%	100%	72.4%

## 今後の予定

- ▼2月3日(火) 第1例会 講演 尾崎ユタカ様
- ▼2月17日(火) 第2例会 18時半
- ▼2月25日(日) 午後8時～ナイトフォーラム2
  
- ▼3月 3日(火) 第1例会 18時半
- ▼3月10日(火) 甲府・甲府やまなみ  
合同例会
- ▼3月14日(土) 15日(日) 次期クラブ  
会長研修会 @東山荘

## <2月の誕生者>

<敬称略>

<メ>

山縣 譲治 2/6

<メネット>

荻野 優子 2/4      鎌田 千里 2/9  
饗場 雅子 2/10



## <1 月例会出席者>



## ペンリレー



ブリテン委員長 野々垣 和宏

一度は行ってみたかった、ふなばしアンデルセン公園に1月24日の土曜日にちょっとだけ散策しに行きました。

ふなばしアンデルセン公園は、船橋市とオランダのオーデンセ市との姉妹都市提携を記念して30年前にオープンしました。

チューリップ祭りがちょうど開催されて期待してましたが意外と寒いのか、いっぱい咲き盛んな感じではないように見受けられました。ただいろんな種類のチューリップが見れましたし、パンジーなど他の花々も見れて良かったです。

また、デンマークの歴史パネルや再現された農家なども見学出来ました。元々は、小麦生産が有名でしたが、アメリカからの安価な物が流入して打撃を受けて豚肉の輸出に力を入れているようです。

その他にもアンデルセン自身を紹介している建物にも行きました。アンデルセン童話集の、マッチ売りの少女、はだかの王様、みにくいあひるの子などを思い出し童心にいつとき帰った感じになりました。

そう言えば、ここ最近、トランプ大統領が、デンマークの自治領の、グリーンランド割譲要求をしたりと世界を騒がせてますが、アンデルセン公園ではそんなことも自然と忘れてしまうような平穏な雰囲気でした。

寒い中、引きこもりがちでありながら今日はいっぱい紫外線を気持ちよく浴びながら帰途に着きました。少し赤く日焼けしてヒリヒリしてます。😓😓

## 廣瀬元会長ご親族より寄附



廣瀬明子様より甲府 21 クラブへ

### 感謝

2026 年 1 月 14 日に、故廣瀬元会長のご親族より寄附を頂きました。2023 年 1 月 30 日にご逝去した廣瀬健会長(役職当時)の親族の方から、ワイズメンズクラブならびに Y M C A への寄附金贈呈がありました。ワイズメンズクラブについては、東日本区と甲府 21 クラブとに分けて頂いております。



廣瀬仁様より東日本区へ



廣瀬仁様より山梨 Y M C A へ

## 松村豪夫さん召天

2026 年 1 月 9 日、満 83 歳にて召天されました



2025.06.09 奈良傳賞受賞して



2005.06.11 甲府富士屋 東日本区大会



2023 年 2 月 4 日 第 3 回東西交流会(神戸)にて

### 「人を愛し力と真心を尽くした生涯を讃えて」

自分よりも、目の前の人のために・・・その一心で歩んできた人生でした。

敬虔なクリスチャンとして、若い頃から教会や Y M C A の様々に活動に参加してまいりました。ハンディキャップを抱えた子供達の支援やバザー、チャリティーランなど、周りの幸せのために精一杯励んできた姿が印象深く思い出されます。

家族も大切にし、親戚やいとこで集まる会を開いていた

ことも忘れられません。その歩みが示していたのは、まさしく、「隣人への愛」でした。人を思う心や信仰は、晩年も変わりませんでした。車椅子生活を続ける中でも困っている方がいらしたらお手伝いをし、毎週日曜の礼拝にも欠かさず参加していたものです。最後まで温かな心を持ち続け 歩み抜いた生涯。神様のもとへたどり着いた後は、好きなものを味わいながらゆっくりと休んでほしいものです。

「今まで本当にありがとう」長き歩みを偲ぶながら、感謝の気持ちで花を手向けます。

～家族より

# 大人な徘徊 第8話

台湾（2018年3月13日～23日）



薬袋 勝



問し、私の家に在る孫文の書について謂れを調べましたが解りませんでした。  
歩行数：231,628 / 21,057 歩  
歩行距離：173.0 / 15.7Km



夜市（高雄）



中国のお墓（花蓮）

ブリテン委員長野々垣です。

仕事柄日本に来ている留学生の人数などに興味をもってウォッチしています。2024年のデータですが、34万人の留学生総数で、大学、大学院などに23万人、日本語教育機関に11万人在籍しています。（JASO調べ）。因みに国別では、1位中国123千人、2位ネパール64千人、3位ベトナム40千人、4位ミャンマー16千人、5位韓国14千人、6位スリランカ12千人、7位台湾7千人、8位バングラデシュ7千人、9位インドネシア6千人、10位モンゴル4千人です。出来れば、親日国の方に来てもらいたいと思っています。

日	徘徊場所	宿泊地
13-16	成田、高雄、墾丁、台南	高雄
17	高雄、知本	知本
18、19	知本、花蓮、太魯閣	花蓮
20-22	花蓮、台北	台北
23	台北、成田	

最初の訪台は、住血吸虫調査の目的で、2回目は台南地震の復興ボランティアに参加でした。いずれも西海岸地域でしたので、今回は東海岸沿いに計画を立てました。

今回も、台北、台南及び高雄は、交通の要点なので訪れなければなりません。しかし、台湾島の最南端、墾丁はまだ訪れていませんでした。墾丁から見られるバシー海峡を見なければ、台湾徘徊完成とは言えません。

東海岸沿いに走る国鉄を利用した徘徊で、台東の近くの温泉地として有名な知本に泊まり、温泉付きの贅沢な徘徊となりました。訪問時の1ヶ月前に起こった地震のあった花蓮は、観光地にはあまり影響がなく、渓谷で有名な太魯閣を安心して回ることが出来ました。

久しぶりに訪れた台北は、発展する台湾の勢いが感じられました。また、孫文記念館を訪

## PINK SHIRT DAY



だ い じ だ よ  
わたしのきもち  
ぼくのきもち  
2026

後援：文部科学省

Designed by GRAMCO Limited



2007 年 2 月、ピンクのシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩 2 人が 50 枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では、呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなりました。このエピソードは SNS 等で 70 カ国以上に広まっていき、カナダでこの出来事があった 2 月の最終水曜日は「ピンクシャツデー」とよばれるようになり、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す 1 日とされています。

▼山梨 YMCA では、2月27日金曜日、市役所を起点に、ピンクシャツデーのパレードを行う予定です。だ い じ だ よ わたしのきもち ぼくのきもち 2026の横断幕や、手作りのプラカードを持って街中を行進致します。

## ◆YMCA便り◆

### 「春を待つ時」

総主事 中田 純子

冬の寒さがいっそう厳しくなるこの頃、梅のつぼみもふくらみ始め、寒さの中にも春の気配を感じる季節となりました。

先月には、富士五湖ワイズメンズクラブの主催により、山梨県内各クラブの皆さまが一堂に会し、盛大に新年例会が開催されました。また、山梨 YMCA と関わりの深い松本・長野両ワイズメンズクラブも同日に新年例会を開かれ、互いの交流を深める良き機会となりました。地域を超えた絆の輪が広がり、ワイズメン・マインドの共有が未来への力となることを心より願っております。皆さまからお寄せいただいた「ニコニコ募金」は、国際協力募金をはじめ、「銀河鉄道の森」など、さまざまな課題解決のために活用させていただいております。

YMCA では、昨年に引き続きお餅つきイベントを開催し、チャイルドケアや野外活動協働プログラムも、ワイズメンズクラブの皆さまのご支援により無事に実施することができました。2 月には PHD 実習生の受け入れが始まり、また「ピンクシャツウィーク」の開催も予定しております。どうぞこれらのプログラムに積極的にご参加いただき、YMCA の活動を体感していただければ嬉しく思います。さらに、毎年恒例の「チャリティーラン 2026」は 5 月 23 日（土）に開催が決定いたしました。ワイズメンズクラブの皆さまのご参加とお支えがあってこそこのイベントです。今年も実行委員としてのご協力を心よりお願い申し上げます。

そして、山梨 YMCA は本年 5 月 1 日に創立 80 周年を迎えます。6 月には記念式典を挙げる予定であり、ワイズメンズクラブの皆さまとともに、これまでの歩みを感謝とともに振り返り、次代へとつながるさらなる飛躍の一步を踏み出したいと願っております。